

# かたぐい

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく



令和5年度  
第58号

2024. 2. 7

## 「令和5年度 of 取組の振り返り」

### ☆今年度は……

- 新型コロナウイルスにかかわる学校生活への影響について ※5類移行後
  - ・ほとんどの行事や活動がコロナ前に戻り、ランチルーム給食等の縦割りの活動も復活。ただし、コロナ前の踏襲ではなく、現時点に合わせた形での実施を意識。
  - 第9波の影響により、
    - 4年学年閉鎖 9/5(火)~6(水)
    - くりっこフェスタ 9/16(土)から11/23(木)へ延期
  - 卒業式は、今年度から来賓にも案内。ただし、来賓祝辞はなしで時間短縮継続。
- 県内、クマの出没警報長期継続(R5. 5. 11~R6. 1. 31)
  - ・クマの目撃情報等による行事や活動の中止、延期、内容変更の多発。
  - 来年度以降もクマ出没を考慮した計画作成の必要性。

### ☆学校教育目標について

## 夢ふくらませ 心かがやく

(夢をもとに、地域を知り、地域を愛し、地域の貢献しようとする志へと変えていく)

～心豊かにたくましく、 振り返ることで新たな自分を獲得できる子どもの育成～

### 心豊かな子

思いやる 認め合う 仲良くする  
協力をする ふるさとを愛する

### たくましい子

挑戦する ねばり強くがんばる  
運動に親しむ 自分を大切に

### 自らを高める子

自信を深める 目標に向かって努力する  
学びを深める 問いを発する

※「保」は保護者アンケート、「児」は児童アンケート、○数字は設問番号  
※数値は学校評価アンケート関連設問でのB評価以上の合計  
※詳細は別紙「令和5年度学校評価(結果)」参照

### 【心豊かな子】

- 人の気持ちを思いやり、互いに認め合い、仲良く協力できる子ども  
児②**99.0%**、児③**91.9%**、保⑥**94.8%**
  - ・くりっこチャレンジなど友達のがんばりを応援。
  - ・なかよしスキルタイムやQ/Uアンケートを活用し、児童理解を基にした学級経営。
  - ・授業終盤での友達のよさを認め合う振り返り。
  - ・清掃活動、給食準備、委員会活動、縦割りの活動など学校生活全般。

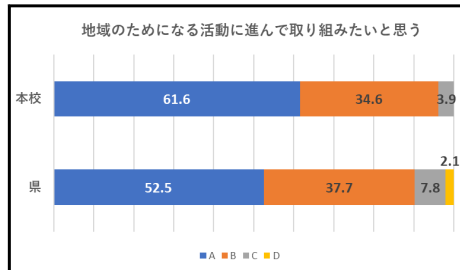
### ○ふるさとを大切に、愛することのできる子ども

保③**98.0%**

※児(4年以上:地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う) **96.2%** → → →

……この児童アンケートのみ県学習状況調査児童質問紙より

- ・地域学校協働活動「くりっこ探検隊」、各種体験活動。
- ・キャリア教育、夢のスケッチブック。



### 【たくましい子】

- 心も体も元気で、挑戦する気持ちをもち、ねばり強くがんばる子ども  
児⑥**94.0%**、児⑦**86.9%**、児⑧**93.9%**、児⑨**79.8%**、児⑩**95.0%**
  - ・休み時間の積極的な外遊びやパワーアップタイムのがんばり。
  - ・家庭学習の継続。
  - ・くりっこチャレンジでのがんばり(2/2現在268人が成功)。
  - ・清掃活動、給食準備、委員会活動などでの責任をもった取り組み姿勢。
  - ・生活リズムの構築(⑥翌日の準備、⑧早寝早起き)がやや低下。特に⑧「早寝早起き」の低下が顕著。家庭でのスマホ・タブレット・ゲーム機等の使用が要因の可能性あり。

○自分の心や命を大切にできる子ども

保④**99.0%**、児⑭**96.9%**、児⑮**100%**、児⑯**99.0%**

- ・教育課程への安全教育や道徳教育のしっかりとした位置付け。
- ・傾聴、承認、プロセス評価、失敗のポジティブシンキング。

### 【自らを高める子】

○「なぜ」「どうして」と問いを発し、進んで課題に取り組もうとする子ども

○自分の考えや意見をもち、互いにかかわり合って読み解き、学びを深める子ども

児⑩**98.0%**、児⑳**99.0%**、保②**87.9%**、保③**96.9%**

- ・子ども同士の対話や交流に重点を置いた「読み解く学び」。
- ・『振り返りの視点』を活用した、内容やねらいに応じた「自信を深める振り返り」
- ・既習事項や生活経験と関連付けた課題設定。
- ・くりっこ探検隊活動での様々な方々とのかかわりや対話。
- ・ICTの活用。
- ・授業での教師の仕掛け。

### ☆授業改善について

○共に学び 自らを高める「くりっこ」を目指して～「読み解く学び」の展開と「自信を深める振り返り」の充実～

- ・上記を研究主題として、今年度の授業改善に取り組んできた。「自信を深める振り返り」については、自己の成長を実感したり、他者から認められたりすることで自信を深め、分からないことを明確にして新たな学びにつなげることを意識し、授業の終末に、そのための時間を確保してきた。「読み解く学び」については、重点3年目になり、子どもたちにも浸透している。しかし、「読み解く学び」を通して、子どもたち一人一人が、その時間に何がわかり何がわからなかったかを、子どもたちの「振り返り」にすべて表出させることは容易ではない。「読み解く学び」から「振り返り」へのつながりを意識し、読み解くことで高め合った子どもの姿をイメージした振り返りの視点を提示することを来年度に向けた課題として、新たに取り組んでいる。この点を意識して、年度末まで、さらには次年度も見据え、しっかりと子どもたちを育てていきたい。

### ☆地域学校協働活動について

- 「夢をもとに、地域を知り、地域を愛し、地域に貢献しようとする志へと変えていく活動」
- ・推進員と実行委員の皆様のご尽力、案内人や保護者の皆様のご協力により、くりっこ探検隊をはじめとした様々な活動を実施できたと感じている。ただひたすら感謝である。
- ・来年度も、以下の方向性を意識して進めていく。
  - ①今年度と同様の実行委員会体制及び各学年ごとの計画（クマ対策も含む）
  - ②開催時期の早期決定と保護者等への周知
  - ③「対話」のための時間的余裕の確保（精選、分散、事前、事後等）
  - ④低学年において、「くりっこ」の由来であるかたくりや西明寺栗を通して、四季を通じた変化の体感
  - ⑤これまでの体験学習や校外学習とのリンク
  - ⑥事前学習及び事後学習（振り返り）の充実
  - ⑦何らかの形での活動報告や提言発表の場の設定
  - ⑧戸沢氏に関する内容の継承活動
  - ⑨地域運動会の周知と実施

### ☆ICTの活用について

○タブレットの持ち帰り推進

- ・来年度以降は、仙北市すべての小・中学校でタブレットを持ち帰ることになる予定。詳しくは次年度になってからであるが、そうなれば、出席停止等の場合の授業へのオンライン参加や家庭での土日のタブレット利用も常時可能となる。ただし、どちらの場合でも、各家庭のWi-Fi環境の整備、家庭でのタブレット利用のルール策定、家庭でのタブレット充電器（Type-C）の準備が大前提となる。同時に、教師側の児童用課題の準備なども必要になってくる。

### ☆年度末に向けて

○すべての子どもが「楽しい」と思える学校を

- ・学校&学級は、子どもたちにとって「安全、安心な場」でなければならない。そして、それによって、子どもたちが「学校に行くのが楽しい」と感じると考える。学校評価アンケート結果では、保護者93.8%、児童96.0%が「学校が楽しいか」との質問に肯定的に回答している。つまり、ほとんどの子どもが「学校に行くのが楽しい」と感じてくれている。しかし、否定的な回答がゼロではないことを見逃してはいけぬ。その子たちが、否定的な回答から肯定的な回答へと変容していくよう、原因を明確にし、原因を排除・克服するための様々な手立てを講じていくことを、職員全員で再確認している。